

10月度 <small>例会</small> 山行報告書 <small>個人</small>		報告者	大矢康裕	参加 メンバー	CL:大矢康裕 浩貴
		報告日	11/14		
山域	伊吹山	山行日	07年 10月 20日(土)		
山名	伊吹山				

山行目的	山歩きに慣れる	コースタイム(天候:天気図記号)
------	---------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

伊吹山 1377m

三ノ宮神社

2.5万分の1地図: 関ヶ原

10/20 晴れ
8:20 名古屋発
9:30 三ノ宮神社
9:50 3合目
10:05 発
10:55 6合目避難小屋
11:15 発
12:05 8合目の上
12:15 発
12:30 伊吹山頂上
13:00 発
13:50 避難小屋
14:05 発
14:30 3合目着
19:00 名古屋着

山行報告 長男と行った前回の釈迦ヶ岳山行で、ヒルのため散々な目にあっただけで、気分直しのため秋の伊吹山に登ることにする。長男が最近、朝起きれないのと、私も前日の空手練習の疲れが残っているので、8:20頃に名古屋の自宅を出発。沿海州にあった低気圧に伴う寒冷前線が明け方に通過した後、雨も上がって、雲が多いが晴れる気配。東名阪自動車道、名古屋高速、名神高速と乗り継いで、関ヶ原ICで降りる。登山口の三ノ宮神社に着いてから、確か3合目までリフトかゴンドラで行けたよな、と記憶を辿り偵察に行くと、ここから200mくらい先に行ったところにゴンドラ乗り場があったので、無理せずにゴンドラを利用して3合目から往復することにする。3合目までは、ゴンドラで5分ちょっと。のんびりしている間にカブスカウトの子供たちもゴンドラで登って来て、大変にぎやかである。最初、雲の中だった頂上も次第に晴れてきて、抜けるような秋空にどっしりとした山容が映える。整備された良い道をカブスカウトの子供たちと、抜きつ抜かれつして、ゆっくりと登る。小学校低学年の子がほとんどだが、大変元気がいい。伊吹山固有種のミヤマコアザミが所々に咲いており、ピンク色の花が秋空とのコントラストでとても鮮やか。6合目の避難小屋で休憩。この避難小屋は、平成18年に米原市によって建てられたばかりで、ピカピカに新しい。風が少し出てきて、さすがにTシャツ1枚では寒くなりボロシャツを着る。7合目くらいから次第に傾斜は急になるが、名前が分からないキク科の白や紫の花の群生に心が和む気持ちの良い登りだ。9合目から

は傾斜が緩やかになり、ほどなく頂上に辿り着く。頂上付近は、ドライブウェイから来る人もいて、大変人が多い。ただ風が強くなってきており、体感温度はかなり低いので、早々に下山する人がほとんど。売店でアイスクリームを販売していたが、この時期に一体誰が食べるのだろう? 寒さに震える頂上を後にして、下山。帰りは、『米原市伊吹薬草の里文化センター』にて、薬草風呂につかり、登山の疲れを癒す。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

ミヤマコアザミ



リーダー所見 私にとって、無雪期の伊吹山は91年の登山マラソン以来であるが、景色や花を楽しむ余裕もなく、三ノ宮神社から59分で駆け登ってしまったので、伊吹山にこれほどの花が咲いているのは新鮮な驚き。コースも米原市によって良く整備されているので、家族連れの方に是非お勧めしたいと思います。

確認 (リーダー)
大
07/10/28
矢
作成 (報告者)
大
07/10/28
矢